

令和 2（2020）年度全国数学教育学会ヒラバヤシ基金研究助成公募要領

1 申請の方法

- (1) 研究代表者は、令和 2（2020）年度全国数学教育学会ヒラバヤシ基金研究助成計画調書（様式 1）を作成し、学会事務局に申請すること。
- (2) 申請期限は、平成 2（2020）年 1 月 2 4 日（金）（厳守）までとする。
- (3) 研究費の申請額は、1 件 50 万円を限度として、若干数を採択する。
- (4) 研究助成計画調書（様式 1）は、1 部提出すること。

2 研究期間

研究期間は、平成 2（2020）年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの間とする。

3 研究費

「消耗品費」は研究目的のために使用する消耗品・研究資料等の経費、「旅費」は研究代表者・研究分担者が調査・資料収集等を用務として出張するための経費及び当該研究に必要な講師等を招聘する場合の経費、「謝金」は研究補助者を雇用するため等の経費、「その他」は会議等のための経費とする。

4 審 査

ヒラバヤシ基金研究部と研究部が任命した審査員で審査し、理事会で採否を決定する。

5 採否決定及び経費配分の通知

審査の採否の結果は、決定後研究代表者に通知（令和 2 年 2 月予定）する。なお、採択された場合は、研究助成実施計画書（様式 2）を作成し、速やかに学会事務局へ提出すること。

また、経費の配分は、令和 2（2020）年度予算内定後研究代表者及びその所属長に通知（令和 2 年 4 月予定）する。

6 研究成果等の報告

- (1) 各研究プロジェクトは、令和 3（2021）年度第 1 回研究発表大会（2021 年 6 月予定）において、研究の概要について報告（発表）することを求められる。
- (2) 研究代表者は、研究終了後 1 ヶ月以内（2021 年 4 月 30 日）に令和 2（2020）年度全国数学教育学会ヒラバヤシ基金研究助成成果等報告書（様式 3）を作成し、学会事務局に提出すること。
- (3) 研究代表者は、執筆要領（別紙）に基づき研究成果の報告をとりまとめること。なお、各研究成果は全国数学教育学会誌『数学教育学研究』（第 27 巻第 2 号，2021）に採録される予

定である。

7 留意事項

- (1) 研究は、複数の全国数学教育学会員（ただし、研究代表者は正会員に限る）が共同して行うものとする。
- (2) 研究代表者は、研究計画の遂行に関してすべての責任を持つこと。
- (3) 調査・実験等を行う場合は、対象者の人権に十分配慮し、関連するすべてに責任を持つこと。
- (4) 研究計画・方法は、研究費と研究目的の関連が明確になるように記入すること。
- (5) 研究費の支出見込内訳の作成は、正確かつできるだけ具体的に記入すること。
- (6) 研究代表者は、研究の遂行上、やむを得ない事由（長期海外渡航・人事異動等）により、研究計画の変更等を必要とする場合は、研究助成計画変更願（様式4-1）を、速やかに学会事務局へ提出すること。
- (7) 研究代表者は、研究代表者及び研究分担者の所属・職名等に変更が生じた場合、研究助成異動報告書（様式4-2）を、速やかに学会事務局へ提出すること。

8 研究助成計画調書等様式の入手方法

各種様式は全国数学教育学会ホームページ(<https://www.jasme.jp/>)からダウンロードすること。なお、ダウンロードができない場合は、学会事務局へ、e-mail等で問合せ願います。

9 研究助成計画調書等の提出先及び問合せ先

全国数学教育学会事務局

事務局長 影山和也 kkageya@hiroshima-u.ac.jp

〒 東広島市鏡山1丁目1番1号

広島大学大学院教育学研究科内

TEL (082) 424-7082